

タンカン栽培ごよみ

赤字は基幹防除 黒字は補完防除

(平成29年1月作成)

一人ひとりの取り組みが奄美のタンカン産地をつくる。

カンキツグリーニング病に警戒し、撲滅と拡大阻止に努めよう。

月	旬	生育相	主な 管理作業	防除方法		栽培上の注意	管理・防除記録欄	
				対象病害虫	防除薬剤と希釈倍数		平成29年	
							月/日	資材・薬剤名 濃度、使用量等
1	上中下		土壌改良 資材の施用			□かしよう病多発園では、被害枝を除去する。		カンキツグリーニング病(CG病)の媒介虫(ミカンキジラミ)の防除 CG病発生地域またはタンカン園周辺にゲッキツがある場合 □ミカンキジラミが新梢に発生しやすいので防除が必要。 スブラサイド乳剤40 1,500倍 または アドマイヤー顆粒水和剤 5,000倍 □夏梢、秋梢の発生・伸長期にミカンキジラミの発生に注意する。 ミカンキジラミの防除 スブラサイド乳剤40 1,500倍 または アドマイヤー顆粒水和剤 5,000倍
2	上中下	収穫	風通しの良い倉庫で予措を必ず行う		□黒点病対策として、 (1)枯枝の除去を徹底し、園外へ持ち出し処分する。 (2)園内の通風、採光、排水を良くする。 □樹勢が弱い樹はスプレーオイルの散布を控える(落葉を助長)。			
3	上中下	発芽期		[収穫直後] 〔ミカンハダニ かしよう病〕	〔スプレーオイル 200倍 (マシン油97%) コサイド3000 2,000倍 クレフノン 300倍〕	□コサイド3000とデランフロアブルの散布間隔は3日以上あける。 □収穫後は樹勢回復のため、 新葉が硬化する直前までに、 尿素500倍の葉面散布を3回程度行う。		
4	上中下	開落 花弁 期	枯枝の除去	[萌芽期] 〔そうか病 開花直前〕 かしよう病	デランフロアブル 1,000倍 〔コサイド3000 2,000倍 クレフノン 300倍〕	□コサイド3000とデランフロアブルの散布間隔は3日以上あける。 □収穫後は樹勢回復のため、 新葉が硬化する直前までに、 尿素500倍の葉面散布を3回程度行う。		
5	上中下			[開花期] 〔訪花害虫・ ミカンキジラミ 落弁期〕	アクタラ顆粒水溶剤 2,000倍	□赤衣病発生園は、被害枝を早急に切り取り、ゆ合促進にパッチレート塗布する。 □昨年度サビダニが多発した園は、 コテツフロアブル 4,000倍を散布する。		
6	上中下			[落弁期] 〔そうか病 黒点病 灰色かび病〕	ストロビードライフロアブル 3,000倍	□累積降雨量が200mmを超えたら、 または散布後3週間を過ぎたら 再度黒点病防除を行う。		
7	上中下			[梅雨前] 〔かしよう病 黒点病〕	〔コサイド3000 2,000倍 クレフノン 300倍〕	□スプレーオイルの散布は梅雨明け直後までとし、 薬害の恐れがあるため高温時の散布は避ける。 □かしよう病対策は台風前の散布とする。		
8	上中下			[梅雨明け直後] 〔ミカンハダニ〕	スプレーオイル (マシン油97%) 200倍	□カイガラムシ類の多発園では、 スブラサイド乳剤40 1,500倍を散布する。 □台風通過後は速やかに散水し、 潮風害対策を行う。		
9	上中下			[粗摘果] 〔黒点病、赤衣病 黄斑病〕	ジマンダイセン水和剤 600倍	□ハダニ、サビダニの発生に注意 (1)ハダニ、サビダニは発生初期の防除に努め、同一薬剤の使用は年1回を原則とする。 (2)ミカンサビダニは下記の薬剤から選択し散布けムラのないように散布する。		
10	上中下			[摘果] 〔黒点病、赤衣病 黄斑病〕	ジマンダイセン水和剤 600倍	□ドリフト低減対策 (1)散布時の風向き、風速に注意 (2)対象作物に近接して散布する (3)近接栽培者との連絡をとる		
11	上中下			[摘果] 〔コナカイガラムシ類 ミカンバエ〕	アクタラ顆粒水溶剤 2,000倍	□ドリフトとは 散布する目標作物以外に農薬が散逸してしまう現象です。		
12	上中下			[台風対策] 〔台風前〕 かしよう病	〔コサイド3000 2,000倍 クレフノン 300倍〕	□ヒヨドリ、カラス等の鳥獣対策を行う。		

基幹防除・・・発生を抑えるため、できるだけ防除に努めましょう。
補完防除・・・発生状況をみながら、必要に応じて防除しましょう。

※農薬は平成29年1月6日現在の登録内容を掲載したものである

農薬の溶かし方早見表 (薬量は、gまたはcc)

水量	倍率	200倍	300倍	600倍	1,000倍	2,000倍	3,000倍	4,000倍
500cc		2,500	1,667	833	500	250	167	125
300cc		1,500	1,000	500	300	150	100	75
200cc		1,000	667	333	200	100	67	50
100cc		500	333	167	100	50	33	25

タンカン施肥基準 (カラタチ台木 10a当たり施用量)

収量	施肥時期	2月下旬		10月上旬
	肥料名	LP入り奄美たんかん春用 (10-7-7)		奄美果樹配合 (8-8-5) または 蜜のめぐみ2合 (8-3-3)
1,500 kg		140 kg		60 kg
2,000 kg		160 kg		80 kg
2,500 kg		180 kg		100 kg

※ シイクワシャー台木では、この量から1～2割減らす。

ミカンサビダニの防除薬剤

薬剤名	使用倍数	使用時期 (収穫前)	使用回数	備考
コテツフロアブル	4,000倍	収穫前日	2回	リュウキュウミカンサビダニ防除可
ハチハチフロアブル	2,000倍	収穫前日	2回	
ダニエモンフロアブル	4,000倍	7日前	1回	ハダニとの同時防除可

イヌマキのキオビエダジャク防除

幼虫発生初期に、トレボン乳剤 4,000倍を散布する。

カンキツグリーニング病対策

- 1 カンキツ園周辺のゲッキツは必ず伐採する。
- 2 カンキツ、ゲッキツに発生したミカンキジラミは防除する。
- 3 発生の疑われる樹があったら、関係機関に連絡する。
- 4 カンキツ、ゲッキツの両方に登録のある防除薬剤
・スブラサイド乳剤40 1,500倍 (年間4回以内、収穫90日前まで)
・アドマイヤー顆粒水和剤 5,000倍 (年間3回以内、収穫14日前まで)